

消防団に関するアンケート結果について

三重県防災危機管理部消防・保安室

住民のみなさまがどのような消防団像を持っているか調査し、消防団に対する意識の把握を行い、消防団の認知度向上や団員の増員などの団員の減少に歯止めをかける取組に向けた参考とするためアンケートを実施しましたところ、645名の方からご回答をいただきました。下記のとおりアンケート結果を取りまとめましたので、ご報告します。

アンケート実施期間 平成20年2月7日（木）～平成20年2月27日（水）

意見募集の結果 対象者数1,040名、回答数645名、回答率62%

回答内容	今後の取り組み
<p>(問3、問4 認知度) 消防団の認知度について、「よく知っている」の35%に対して、「名前は知っている」「まったく知らなかった」の合計が64%と、半数以上の方が消防団についてあまりよく知らないことがわかりました。 一方、消防職員と消防団員の違いは70%以上の方が知っているという結果でした。</p>	<p>消防団の活動を多くの人に知っていただくため、市町のホームページや広報誌、ケーブルテレビ番組等を通じてPRするよう各市町に働きかけを行うとともに、県などでも広報活動に取り組みます。</p>
<p>(問5 広報、問6 広報手段) 広報活動について、「十分」の9%に対して、「十分とはいえない」「全く不十分」の合計が72%と、多くの方が広報活動は十分ではないと思われるということがわかりました。 また、広報手段については、市町の広報誌やケーブルテレビの広報番組など、地域に密着した広報手段が有効であるという回答を多くいただきました。</p>	
<p>(問7 災害時の役割) 災害時における消防団に期待する役割としては、「救助・救出活動」、「消火活動」、「避難誘導」の順に回答を多くいただきました。</p>	<p>いただいたご意見を各市町消防団へお伝えします。</p>

<p>(問8 報酬、問9 参加意向、問10 不参加理由)</p> <p>「高い」と思われている方が9%、「妥当」と思われている方が31%、「安い」と思われている方が37%という結果でした。</p> <p>また、消防団活動に「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計が50%と半数の方が参加に消極的であることがわかりました。</p> <p>その理由としては、「仕事」や「家事」が「忙しい」「精神的、肉体的に負担が大きい」が大きな理由となっていました。その他「高齢のため」という回答を多くいただきました。</p>	<p>いただいたご意見を各市町消防団へお伝えし、多くの方が消防団活動に参加しやすい環境整備に努めるよう働きかけます。</p>
<p>(問11 活性化)</p> <p>「被雇用者が消防団へ参加しやすい環境づくりをする」「県や市、町が広く広報する」といった団員の活動に対する理解や協力を広める活動が有効であると旨の回答を多くいただき、次いで、「安全対策や補償の充実」「報酬・手当の増額」といった団員の待遇の改善が有効である旨の回答をいただきました。</p> <p>他方、「消防団員が減少しても問題ない」と考えている方がほとんどいないことがわかりました。</p>	
<p>(問12 期待)</p> <p>災害時に各地域でリーダーとして地域住民の避難、誘導をすることや増加している高齢・独居世帯への巡回など、地域に密着した活動を期待するご意見を多くいただきました。</p> <p>他方、消防団活動を知ってもらう機会を増やすことや会計の透明化など、地域に開かれた消防団を目指してほしいといったご意見をいただきました。</p> <p>また、その他多数ご意見をいただきました。</p>	<p>地域に密着し、かつ地域に開かれた消防団としての活動を期待されていることを各市町消防団へお伝えし、今後もこれまで以上に積極的に活動するよう働きかけます。</p>

このアンケートでいただいたご意見や消防団に対する印象、期待されていることを今後の消防団活動の活性化や団員数の増員対策の取組の参考とさせていただき、本県のかかげる「安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造」にむけ、取り組んでまいります。ご協力いただきましたモニターの皆さまにお礼申し上げます。